

【施策番号 - 3 - 14】

|          |            |              |
|----------|------------|--------------|
| 分野       | 戦略         | 安全安心で住みやすい社会 |
| 長寿安心くまもと | 重点的に取り組む施策 | 防災対策の推進      |

1 施策の概要 (PLAN)

|  |  |
|--|--|
| <b>(1)背景</b>   | <b>(4)取組みの概要</b>   |
| <p>毎年のように梅雨前線豪雨や台風等による災害に見舞われ、また、活断層等による大地震発生の可能性も指摘されている。</p> <p>市町村における防災・消防体制の整備、住民による自助、共助の取組みが十分でない状況にある。</p> <p>県立学校施設の耐震化の取組みについて、まだ完了していない状況にある。</p> | <p><b>【地域における防災体制の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の被害を最小限にとどめるため、県民の防災意識の高揚や自主防災組織の結成、活動促進を図る</li> <li>・市町村におけるハザードマップ作成の支援を行う。</li> <li>・豪雨や土砂災害等から住民をまもるため、河川の改修、土砂災害防止施設等の整備を進める。</li> </ul> <p><b>【消防力の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防本部の広域化の推進や消防団活動の活性化等により消防力の強化を図る。</li> </ul> <p><b>【学校施設の耐震化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校施設の耐震化を進める。</li> </ul> |
| <b>(2)めざす姿</b>   |  |
| 豪雨や土砂災害、火災、地震等の災害に対する安全が確保され、安心できる「安全安心で住みやすい社会」をめざす。  |  |
| <b>(3)解決すべき課題</b>  |  |
| <p>地域における防災体制の整備が求められている。</p> <p>小規模な消防本部体制や消防団員の不足等、地域の消防力に課題がある。</p> <p>学校施設の耐震化が急務となっている。</p>   |  |

2 施策の主な構成事業 (DO)

| 取組みの概要        | 担当課     | 平成22年度事業/決算(千円) | 平成23年度事業/当初予算(千円) |               |              |         |
|---------------|---------|-----------------|-------------------|---------------|--------------|---------|
| 地域における防災体制の強化 | 危機管理防災課 | 自主防災組織率向上対策事業   | 813               | 自主防災組織率向上対策事業 | 1,152        |         |
|               |         | 市町村防災訓練実施支援事業   | 262               | 市町村防災訓練実施支援事業 | 711          |         |
|               | 河川課     | 河川海岸情報基盤整備事業    | 10,081            | 河川海岸情報基盤整備事業  | 40,000       |         |
|               |         | 河川改修事業          | 8,650,507         | 河川改修事業        | 7,409,262    |         |
|               |         | 海岸高潮対策事業        | 524,419           | 海岸高潮対策事業      | 260,000      |         |
|               |         | 砂防課             | 土砂災害警戒避難対策事業      | 323,100       | 土砂災害警戒避難対策事業 | 523,101 |
|               |         |                 | 火山噴火警戒避難対策事業      | 92,451        | 火山噴火警戒避難対策事業 | 21,000  |
|               | 砂防事業    |                 | 5,600,921         | 砂防事業          | 5,156,221    |         |
|               | 消防力の強化  | 消防保安課           | 消防広域化推進事業         | 3,439         | 消防広域化推進事業    | 4,134   |
|               |         |                 | 消防費               | 1,818         | 消防費          | 1,885   |
| 市町村等消防施設整備補助  |         |                 | 2,670             | 市町村等消防施設整備補助  | 3,670        |         |
| 火災予防費         |         |                 | 8,078             | 火災予防費         | 8,350        |         |
| 県消防協会補助       |         |                 | 2,616             | 県消防協会補助       | 2,485        |         |
| 救急業務高度化推進事業   |         |                 | 1,524             | 救急業務高度化推進事業   | 1,883        |         |
| 教育庁施設課        |         | 県立高等学校等耐震改修事業   | 467,264           | 県立高等学校等耐震改修事業 | 1,249,912    |         |
| 学校施設の耐震化      |         |                 |                   |               |              |         |
|               |         |                 |                   |               |              |         |
|               |         |                 |                   |               |              |         |
|               |         |                 |                   |               |              |         |

3 施策の評価 (CHECK)

| (1)指標の推移               |                      |                        |                        |                          |      |   |
|------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|------|---|
| 指標(単位)                 | 策定時                  | H21                    | H22                    | H23                      | 目標値  | 目標値の説明                                    |
| 1 自主防災組織率(%)           | 44.0<br>(H19)<br>達成度 | 47.9<br>(H20)<br>67.8% | 51.3<br>(H21)<br>72.6% | 53.3<br>(H22)<br>75.4%   | 70.7 | H19.4.1現在の全国組織率を目標とする                     |
| 2 関係市町村のハザードマップの作成率(%) | 40.0<br>(H19)<br>達成度 | 58.0<br>(H20)<br>58.0% | 63.0<br>(H21)<br>63.0% | 100.0<br>(H23)<br>100.0% | 100  | 関係市町すべてが洪水ハザードマップ(河川の氾濫を想定した洪水に対するマップ)を作成 |
| 3 県立学校の耐震化率(%)         | -<br>達成度             | 64.3<br>(H20)<br>73.1% | 72.3<br>(H21)<br>82.2% | 83.1<br>(H22)<br>94.4%   | 88   | H24年度末で100%をめざし、H23年度末の目標値は88%とする         |

| (2)指標の分析   |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>1. 各市町村における組織育成の取組み及び地域防災リーダー養成研修の実施等により徐々に上昇している。</p> <p>2. 22年度に作成市町村が大幅に伸び、H23.9時点では目標を達成した。</p> <p>3. 22年度の改修工事により、10.8%上昇し、順調に目標達成に近づいている。</p> |  |  |  |  |  |  |

| (3)平成22年度の取組みの主な成果  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|
| <p><b>【地域における防災体制の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内14市町村へのヒアリング、地域防災リーダー養成研修「火の国ぼうさい塾」(修了者86名)、防災セミナー(参加者236人)等の実施を通じ、防災意識の向上・自主防災組織率の上昇に繋がった。</li> <li>・河川や海岸の堤防整備等を進めたほか、県作成の浸水想定区域図の提供により、30河川の流域12市町村が洪水ハザードマップを作成し(累計37市町村)、防災体制の整備が進んだ。</li> <li>・土砂災害施設の整備(18施設)や土砂災害警戒区域等の指定(724箇所、累計2,447箇所)、また、6市町村に対する土砂災害警戒避難勧告等の基準(案)の策定支援などにより、警戒避難体制の整備が進んだ。</li> </ul> <p><b>【消防力の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防の広域化に関する具体的な協議が、城南・中央の各ブロック協議会で進められた。また、城北ブロックでも、23年度早期の協議会設立の見込みとなった。</li> <li>・県消防協会と連携した消防団員確保対策により、女性消防団員の増加や消防団協力事業所表示制度の導入が進んだ。</li> <li>・状況に応じた適切な搬送・受入体制の構築のため、「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」を策定・公表した。</li> </ul> <p><b>【学校施設の耐震化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14棟の耐震改修設計、41棟の耐震改修工事を完了し、耐震化が進んだ。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |

| (4)平成23年度の取組方針、取組状況   |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|
| <p><b>【地域における防災体制の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災で住民の防災意識が高まっていることから、意識を地域防災力向上に具現化させる手段となる自主防災組織の設立促進・活動活性化を図るため、これらに直接に取り組んでいる市町村に対する働きかけや支援策を強化する。</li> <li>・洪水ハザードマップの未作成3団体へ作成・公表の働きかけを行い、3団体とも完了した。</li> <li>・引き続き、土砂災害防止施設の整備及び土砂災害警戒区域の指定を行う。特に特別養護老人ホームを含む災害時擁護者施設(241施設)については、優先的に警戒区域の指定を行い、警戒体制の整備を急ぐ。</li> </ul> <p><b>【消防力の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ブロック(城南、中央、城北)での協議を支援するため、各ブロック協議会事務局への県担当者派遣、運営補助を行う。</li> <li>・県消防協会との連携を更に強化し、地域の実情に応じた消防団員確保に向けた事業を実施する。また、車両整備等に対する補助を継続し、消防団活動の環境を整備する。</li> </ul> <p><b>【学校施設の耐震化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・68棟の耐震改修設計、20棟の耐震改修工事を実施する。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |

| (5)施策の進捗に関する総合評価   |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の育成については、地域防災リーダー養成等の結果、一定の効果が見られるが、組織率の大きな伸びにつながらず、目標値の達成は難しい状況にある。</li> <li>・消防広域化については、県内3ブロックでの協議会が設立され、広域化に向けた実質的な協議を進める体制が整った。</li> <li>・消防団については、全国トップクラスの団員を維持しているが、総数では依然減少傾向が続いている。</li> <li>・ハザードマップ作成や、土砂災害防止施設及び住民の警戒避難体制の整備に資する土砂災害警戒区域指定が着実に進んだ。</li> <li>・学校施設の耐震化についても、概ね順調に進んでいる。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |

| (6)施策を推進していく場合の課題  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災により高まった防災意識を自主防災組織の結成・活動に繋げるための実践的施策を集中実施する必要がある。</li> <li>・消防広域化について、目標としている24年度末に向け、構成市町村の意識醸成や課題整理等を積極的に進める必要がある。</li> <li>・消防団員の多くは被雇用者であるため、消防団員の活動しやすい環境整備を図るには、事業主の理解が不可欠である。</li> <li>・ハザードマップの活用に関する住民への周知、土砂災害防止施設の設置に対する地元関係者の協力確保等が不可欠である。</li> <li>・厳しい財政状況・施工期間のなか、計画的・効率的な県立学校耐震改修を進めていく必要がある。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |

4 今後の方向性 (ACTION)

|  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村に対し、自主防災組織の設立促進のための補助を行うなど、市町村への働きかけ・支援を特に強化し、また、住民に対する広報・啓発・資料提供等をこれまで以上に実施する。</li> <li>・ハード・ソフト一体となった警戒避難体制の整備促進に向け、地域防災計画の見直しを進める。</li> <li>・消防広域化に対する住民の理解促進のため、協議状況等の広報、周知を行うとともに、県消防広域化推進委員会(仮称)を設置し各ブロックの協議を支援。また、消防団員確保のため、OB団員を活用するなどの機能別団員制度等の普及や女性消防団員の確保を市町村等に働きかける。</li> <li>・計画的な県立学校の耐震改修を進め、24年度で再編対象校等を除く耐震化を完了させる。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|